



南部地区の農業振興を目指して

沖縄県では、沖縄振興計画の策定主体が国から県への移行し、より自由度が増した交付金制度の創設など、沖縄の自主性・自立性がより発揮できるようになり、平成 24 年 5 月に沖縄 21 世紀ビジョンの実現に向けた「沖縄 21 世紀ビジョン基本計画」を策定しております。また、この基本計画に加え平成 25 年 3 月には、具体的な農林水産業の振興方向を示した「沖縄 21 世紀農林水産業振興計画」を策定し、成果目標の達成に向けて農林水産部職員が一丸となって精力的に取り組むこととしております。

南部農業改良普及センター管内の農業は、野菜、熱帯果樹等消費者ニーズに即応した作物の生産振興に取

り組んでおり、さとうきびをはじめ養豚、花き、乳用牛、鶏、肉用牛、かんしょ等が盛んで、これらの品目を柱としながら、拠点産地を中心とした産地の拡大を進めることを基本的な振興方向としております。

このような中で、担い手の育成確保や栽培技術の高位平準化、生産・出荷体制の強化、生産コストの削減、作業の省力化、環境に配慮した農業生産の実現、農地流動化による規模拡大、防災農業の確立など課題は山積しております。このような状況を踏まえ、平成 25 年度は以下の課題に重点的に取り組みます。



1. 安定的な農業の担い手育成

新規就農者や認定農業者の技術・経営改善、農業青年クラブや農業士等組織活動の充実強化、就農女性の経営参画促進などを支援します。

2. おきなわブランドの確立に向けた産地育成

野菜、花き、果樹、甘しょなどの拠点産地の育成や、さとうきびの増産、畜産の生産供給体制の強化などを支援します。

3. 環境と調和した農業生産活動

エコファーマーの育成、施肥の適正化、農薬の適正使用、食の安全・安心の確保などの取り組みを強化します。

4. 地域資源活用による農村振興

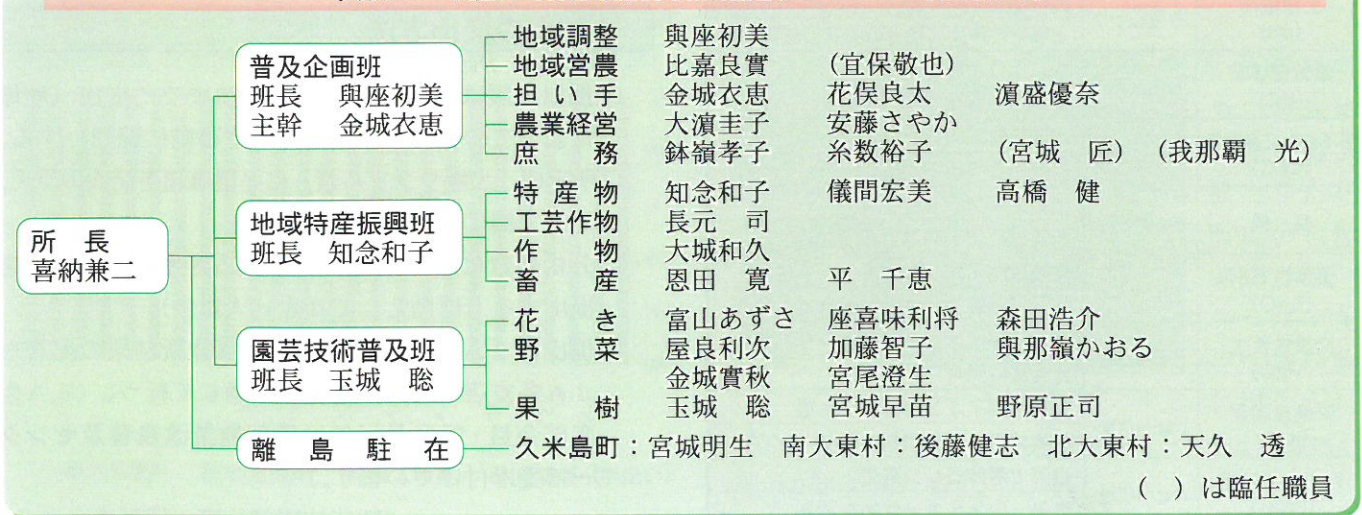
地産地消の推進、都市・農村の交流による農村の活性化、地域特産物の活用、島野菜の産地化を支援します。

これらの課題解決に当たっては、生産農家をはじめ、市町村、JA の関係機関・団体と密接に連携し、特に展示ほや講習会、視察研修等現場主体の手法を中心に取

り組む所存であります。関係者の皆様には、今後とも農業改良普及事業へのご支援・ご協力をお願い致します。

南部農業改良普及センター所長 喜納 兼二

平成 25 年度 南部農業改良普及センター活動体制



受けてみませんか、土壌の健康診断を！

～ 5 月下旬より平成 25 年度土壌検診スタート～

1 土づくりの意義について

近年、消費者の食の安全・安心に対する関心の高まりとともに、エコファーマー・特別栽培・GAP（農業生産工程管理）など環境に配慮した農業がますます求められています。

そのためには、作物本来の『基礎体力（樹勢）の維持による健全な生育』が前提であり、畑の健康状態を知ることは、「品質向上・増収」のみでなく「減農薬」等の対策においても非常に重要です。

ちなみに平成 24 年度には南部管内において、1,037 点の土壌分析を実施いたしました。

※平成 25 年度の土壌分析日程

①日時：5 月 27 日～5 月 31 日

場所：南部農業改良普及センター

対象地区：南部管内全般

②日時：6 月 10 日～14 日

場所：J A おきなわ糸満支店

対象地区：J A 糸満・小禄支店管内

③日時：6 月 24 日～28 日

場所：J A おきなわ大里支店

対象地区：J A 糸満・小禄支店管内以外

④日時：7 月 8 日～12 日

場所：南部農業改良普及センター

対象地区：周辺離島（粟国村・座間味村等）

2 分析項目について

以下の 8 項目について分析します。

【分析項目】	【単位】	【項目の意味】
		【数値から判ること】
土壌酸度 (pH)		肥料の溶け具合を左右（作物毎の適正值） 土壌中の酸度、養分の吸収に影響する
電気伝導率 (EC)	ms/cm	水に溶けた肥料濃度 多施肥や塩類集積等の目安
陽イオン交換容量 (CEC)	me/100g	土壌の胃袋の大きさ 保肥力の大小
腐植	mg/100g	土の生産力のもと 土質の改善や微量要素の補給
交換性石灰 (CaO)	mg/100g	交換性陽イオンのカルシウム量 タンパク質合成や細胞壁合成に関与
交換性苦土 (MgO)	mg/100g	交換性陽イオンのマグネシウム量 光合成に関与
交換性加里 (K ₂ O)	mg/100g	交換性陽イオンのカリウム量 作物体内の機能調節に関与
トルオーグリン酸 (P ₂ O ₅)	mg/100g	根酸で溶けるリン酸量 生長・エネルギー代謝に関与

3 分析土壌の取り方

①土壌を採るタイミング

作物収穫後におこなうことが基本です。

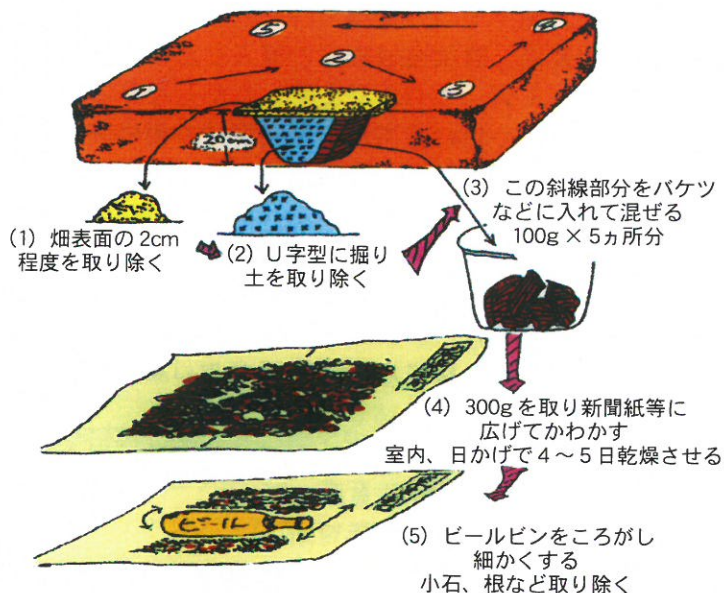
※次期作物の基肥前（前作収穫後のすき込み耕耘後
すぐが最適）に土を採るとよい。

②土壌を採る深さ：根の多い 15～20cm 付近より取る。

③土壌を採る位置：ほ場別にはほ場内の数ヶ所を偏りなく採って混ぜる。※これをほ場ごとに行う

④土壌の量：乾燥させ、フルイにかけて土を約 100～300g（コップ一杯程度）採る。

⑤同一ほ場内に土壌の違いによる生育差が生じていると思われる場合は、作物が正常に生育している箇所とそうでない箇所で分けて土壌を採り、2つのサンプルに分けて提出する。



4 土の提出方法

①提出期限は分析月日の 1 週間前までに提出（地域によって分析月日が異なるので事前に確認）する。

②所定の「土壌サンプル票」に必要事項を記入のうえ、土と一緒に提出する。

③分析件数に限りがあるため、必要最小限の点数を提出する（原則として 4 点/人以内）。

④提出は J A 各支店に行い、土壌診断結果の配布も J A 各支店（生産部会等）を通して行う。（J A 生産部会員・組合員以外は南部農業改良普及センターで受け付けています。）

（園芸技術普及班：與那嶺かおる）

マンゴー栽培技術情報

備えあれば憂いなし…台風対策 !!

台風シーズンがやってきました。近年、たび重なる台風により多くの被害を受けています。万全な対策で被害を最小限に止めましょう！今回は台風被害による

病害と施設での二重ネット被覆による台風対策を紹介しします。

◆台風被害

①落葉、枝枯、樹勢の低下、塩害等



成木(↑)及び幼木(←)での被害状況。

②かいよう病

葉や果実、枝幹を侵す病気。



葉：コールタールのように盛り上がり角張った黒斑が出る。
枝、幹：亀裂からヤニが出る。
果実：黒斑に裂け目が出る。

※台風前の IC ボルドー 66D の予防散布が重要です！！

③枝枯細菌病

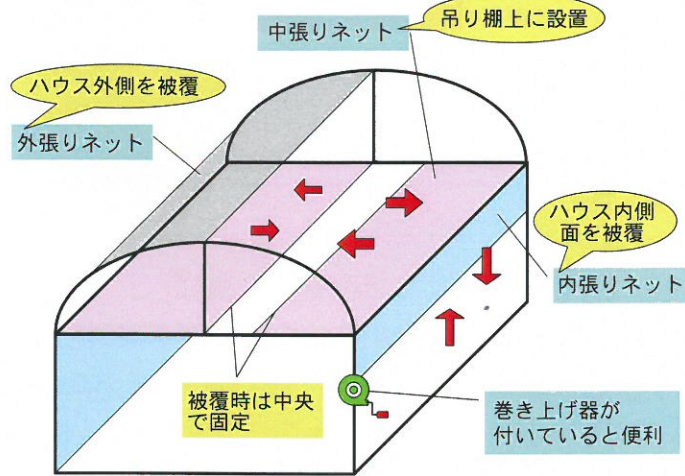


葉：葉柄から主脈に沿って黒色化、枯死。
枝：緑色枝が褐～黒色化、病葉は落葉しない。



◆施設対策～二重ネットの設置～ 防風対策は果樹栽培の基本です！

二重ネットの設置例



(注) 紹介した二重ネットによる台風対策はある程度風に耐えられるハウス強度が前提で、小型のパイプハウス等では補強が必要です。

補強例) ・足場パイプで3mおきのアーチに追加補強

- ・ 3m間隔で中央に支柱を立てる。
- ・ 前後の妻面と支柱をクランプで接続。

※ネット設置により、風速は6割程度に抑えられますが、二重ネットにする事で台風被害を4～3割程度まで抑制することが確認されています。(『ネットを利用した風環境対策-沖縄県園芸施設保守管理マニュアル(平成25年3月沖縄県農林水産部)』より抜粋)

◆事前対策◆

・ 防風ネット設置・ハウス補強(必要があれば)・IC ボルドー 66 D 散布

◆事後対策◆ 「台風通過後、早急に」

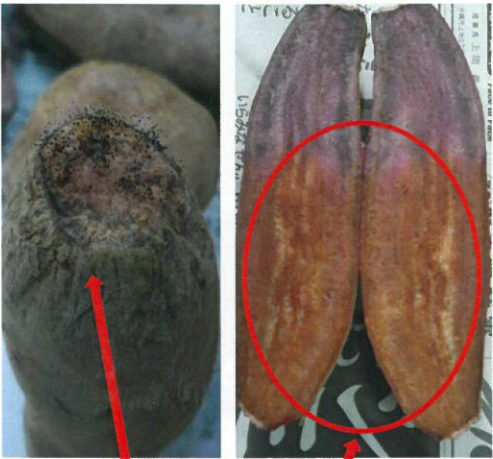
- ・ 塩害対策→樹全体に散水(停電も考慮しましょう…)
- ・ 高温対策→ハウス換気(台風後は急な高温が予想されます)

(園芸技術普及班：宮城早苗)



かんしょ出荷後の腐敗や劣化を防ぐには!!

収穫後のかんしょの病気発生の原因 → 収穫、出荷、調整時に傷口から土壤中の菌が侵入し、軟腐病、炭腐病が多い。



軟腐病

病原菌が侵入しやすい条件とは？

- ・水分が多いとき
- ・かんしょに傷口ができたとき



炭腐病

かんしょに傷口ができるときはいつ？

- ・栽培期間中の虫による食害
- ・収穫適期を超えたかんしょの劣化
- ・掘り取り時
- ・かんしょの洗浄時・収穫後の調整時
ゾウムシ類侵入確認作業時

その対策は？

- ・適切な病害虫防除
- ・適期栽培、適期収穫の実施
- ・晴天、土壌が乾いた状態での収穫
- ・洗浄後、調整後、ゾウムシ侵入確認後の速やかな扇風機等による強制風乾を実施

まとめ：年中栽培が可能で貯蔵施設を持たない沖縄では、いもに傷がついたときの強制風乾が最も取り組みやすく、効果の高い方法です。

参考：年一回の収穫となる県外の産地では保存効果を高めるため、キュアリング処理（傷口にコルク層を発達させて傷を修復させる処理）を行っている。方法は保管前に温度 31～33℃、湿度 90～95%で（3～4日間処理）を行い、その後保管庫（温度約 14℃、湿度 85～95%）で保存をすることで約半年の長期保存が可能となっている。

注）この方法の成功条件として、病害虫被害の少ないかんしょを作る必要がある。県外は植付前の土壌消毒と排水のよくやわらかい土壌で、形状、外観のよいかんしょが作られている。

『潜む危険』 イネヨトウの被害を阻止するために！

県内各地でイネヨトウの被害が続いており、減産の一つの要因とされています。久米島では、今年に入り突然の異常発生と大きな被害に直面しています。各地で同様の状況を招かないとは限りません。
イネヨトウの発生動向をおさえ、しっかりとした防除対策を地域として講じる必要があります。

異常発生・被害の危険潜む

平成25年度病害虫発生予報第2号(5月予報)

その他注意すべき病害虫等 ※本文中では○(中丸)にて表記

作物	病害虫名	対象地域				
		沖縄群	縄島	宮古群	古島	八重山群
さとうきび	カンシャシクイハマキ			○		○
	イネヨトウ		○	○		○
	サキシマカンシャシクイメツキ			○		○

沖縄県病害虫防除技術センター



ほ場および周縁部のイネ科雑草は発生源となるので、除去しましょう！

■イネヨトウが活発になる前の生育初期に、地域全体での防除対策が大切です。
■植付、株出管理、中耕培土時に、「粒剤」を施用しましょう。

「粒剤」の特性

- ◇粒剤は、さとうきびが吸収し、茎の中に潜むイネヨトウをしっかり防除できます。
- ◇防除効果が持続します。
- ◇粒剤は、散布しやすく、飛散の恐れが少なくなります。

毎年5月頃からイネヨトウの発生が活発化

適期防除

各生産組合で5月末まで粒剤による共同防除（基金事業）を推奨・助成！！。夏植新植は、植え付け時に粒剤を施用しましょう。詳しくは各JA支店にお問い合わせ下さい。

農薬名	使用時期	使用量	使用方法	使用回数
アドバンテージS粒剤	植付時	6～9kg/10a	植溝処理土壌混和	2回以内 (植付時は1回以内、 培土時は1回以内)
	培土時	6～9kg/10a	株元処理土壌混和	
オンコルOK粒剤	植付時	6～9kg/10a	植溝土壌混和	1回
	生育期 (分けつ期まで)	4～6kg/10a	株元散布 又は株元土壌混和	

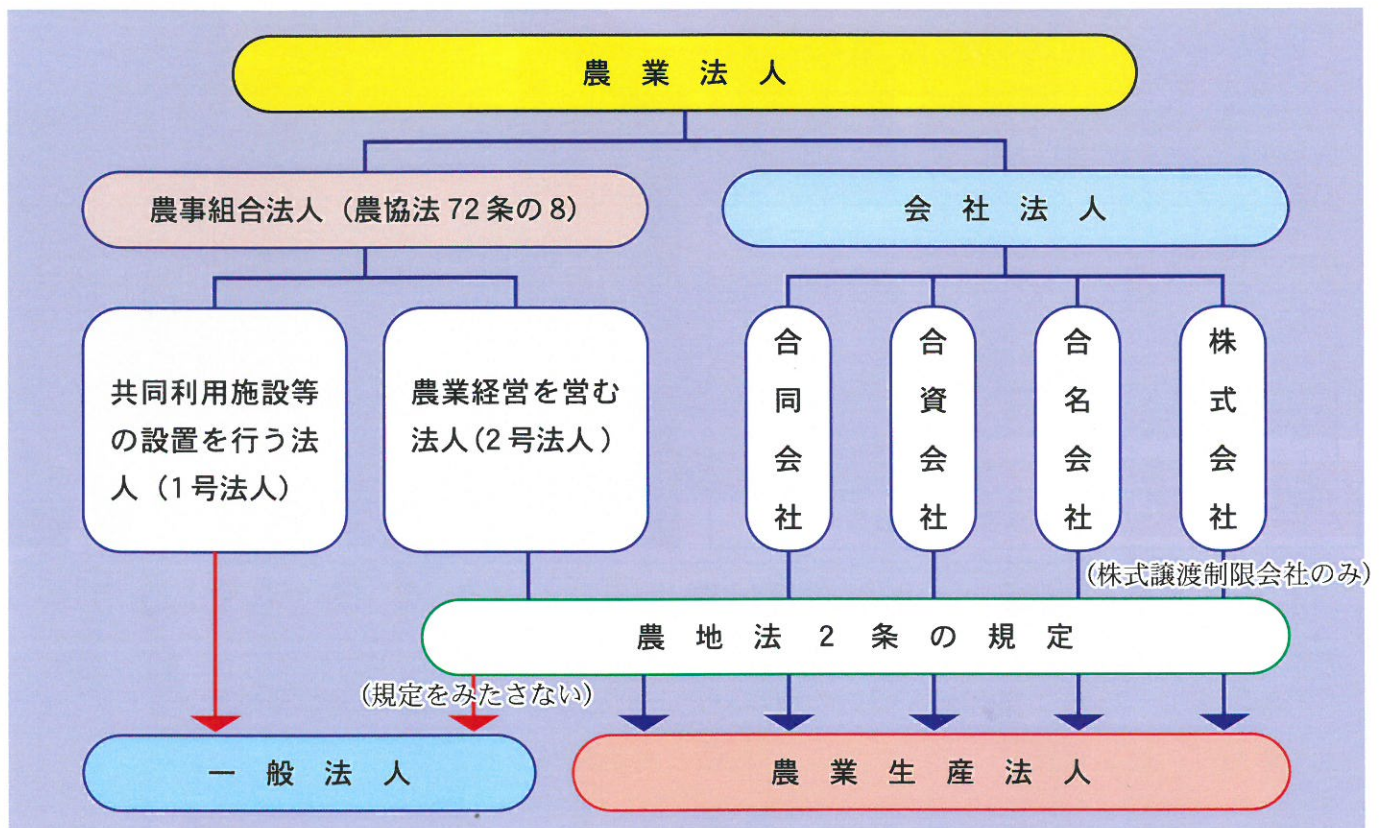
農業経営情報

農業の法人化とお金の話

○農業法人と農業生産法人

農業法人とは「法人形態」によって農業を営む法人の総称です。また農地の権利取得の有無によって「農業生産法人」「一般農業法人」に大別されます。農業生産法人は“農業経営を行うために農地を取得できる法人”であり、事業や構成要員、役員についても一定の要件があります（ただし、農地を利用しない農業の場合は農業生産法人の要件を満たす必要はありません）。

法人化する場合どのタイプの法人を選ぶのか、それぞれの法人形態の特色や自らの経営展望に照らして選択する必要があります。



○法人化のメリットと義務（負担）

農業経営法人化の利点は一般的に①経営体の円滑な継承②経営管理能力や資金調達力、対外信用力の向上③雇用労働関係の明確化や労災保険などの適用による農業従事者の福利厚生の充実④新規就農者の確保が⑤税制の優遇&融資限度額の拡大（認定農業者に限る）等があります。

義務（負担）としては①財務管理の複雑化により労力が必要②法人設立時に設立登記費用等の経費が必要③法人課税が個人課税より有利となるためには、一定以上の所得規模が必要④利益がなくても都道府県民税（均等割）、市町村民税（均等割）の納税義務あり⑤各種社会保険制度導入により事業主負担の発生等があります。

法人設立を考えている方は個人経営と法人経営の違いを熟知し、どのメリットが自己の経営に活かせるのか、その場合の義務（負担）はどうなるのかということを検討して頂きたいと思います。

○資金繰り（融資）

農業法人の資金繰りについて、特に農業制度資金融資に関しては経験、実績のない農業法人が借入れを申し込んでも、金融機関から融資を断られる場合があります。理由としては対外信用力がないためです。法人化イコール借入れが容易になるという訳ではありません。農業法人も他産業と同様に、開業時はヒト（人材）、モノ（設備・機械）、カネ（運転資金）、特にある程度の運転資金を準備する必要があります。農業法人設立のメリットは数多くありますが、法人化すれば自動的に享受されるものではなく、経営努力のなかで生み出され獲得していくものです。

（参考文献「農業生産法人の設立の手引き」平成 25 年 3 月沖縄県農林水産部、沖縄県農業会議）

（普及企画班：大瀧圭子）

平成 24 年度沖縄県花き品評会にて宮平聰氏・リツ子氏が農林水産大臣賞受賞！

平成 24 年度沖縄県花き品評会にて、沖のきぼう（小ギク・黄）で宮平聰氏・リツ子氏が夫婦で、特別賞の最高賞でもある。農林水産大臣賞を受賞されました。出品作の沖のきぼうは、花・茎・葉のバランスがよく、開花が揃っており、病害虫の害やキズ等がなく、各審査員から高い評価を受け、農林水産大臣賞に選定されました。

平成 25 年 2 月 4 日には上原副知事を表敬訪問し、2 月 28 日には J A 玉城支店主催で多くの方々が参加し、祝賀会が盛大に催されました。

宮平夫婦は J A 花卉部会の部会長等の役員を務めな

がら、平成 20 年度には指導農業士に認定され、農業の後継者育成や地域の農業振興に尽力を注いでいます。「いつか農林水産大臣賞を受賞したい！！」と毎年花き品評会へ積極的に出品していただけたに、とても感激しており、それと同時に「受賞できたのは、J A や市町村、普及センターなどの関係機関の皆様や、玉城で農業をしている仲間のおかげ。これは皆様の賞を私たちが代表して頂いただけです」と周りの方々への感謝も忘れません。

今後も更なる活躍が期待されています。

(園芸技術普及班：富山あずさ)



受賞した小ギク（沖のきぼう）



上原副知事表敬



祝 宮平聰・リツ子夫妻 農林水産大臣賞受賞祝

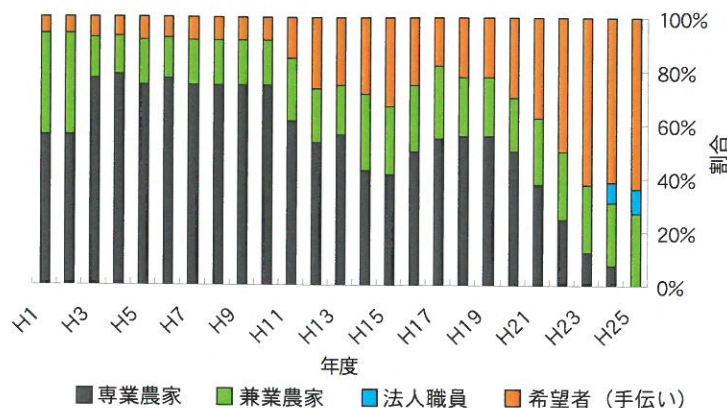
J A 玉城支店主催受賞祝賀会

南大東村農業青年クラブの紹介

南大東村農業青年クラブは、昭和 52 年に発足し、今年で 36 年目を迎えます。現在は、会員と準会員を併せて 11 名で活動しています。主な活動としては、さとうきび栽培についてのプロジェクト活動や村産業祭りでの出店、島外への視察研修、生活研究会と共同で機関紙の「びろう樹」の発刊などを行っています。

これまで、南大東村農業青年クラブ員の殆どは専業や兼業の生産者で構成されていましたが、近年は、就農を目指す若者が半数以上を占めています（図 2）。

が見られています。就農希望者が多く、さとうきび栽培経験も少ない会員もいることから、平成 24 年度からは、さとうきび栽培の実習ほ場を設置しました。植え付けから収穫までを定例会で相談しながら、主体的にさとうきび栽培に取り組んでいます。また、経験者が初心者へ農業機械の使い方や基本的な栽培技術を伝える場面もみられ、調査や試験が主なプロジェクト活動とは違った活動が展開できています。



会員の構成の変化から、活動内容にも少しずつ変化



さとうきび栽培に取り組む様子

そのほかにも、地産地消促進協議会と協力した村内向けの自給野菜の生産や、クラブで生産した農産物を利用した村の

イベントへの参加なども企画され、今後は、多様な取り組みが期待されます。

(南大東村駐在：後藤健志)

(募集) 集まれ!! 若手女性農業者の皆さん!!

南部農業改良普及センターでは、平成 24 年度から新しい試みとして、若手女性農業者の農業経営に必要な技術・知識の習得や仲間づくりを支援し、若手女性農業者の経営参画・社会参画や就農定着を図ることを目的に、若手女性農業者勉強会を開催しています。

平成 25 年度は、8 月から全 6 回の日程で開催予定、対象は農業に従事する 45 歳未満の女性です。詳細については 7 月に募集要項を公開しますので、若手女性農業者の皆さん、ぜひご参加ください。



平成 24 年度勉強会の様子

- 平成 25 年度のカリキュラム (案)
(案なので変更の可能性があります)
- 第 1 回: 「女性だからできる農業経営!」
講師 シニア野菜ソムリエ 徳元佳代子氏
 - 第 2 回: 「加工のはじめ方、加工起業活動事例を学ぼう!!」
 - 第 3 回: 「女性が活躍する事例に学ぶ! ~地域農産物ブランド化と産地づくり~」、「安心・安全な農産物の生産」
 - 第 4 回: 「農業経営に役立つ経営管理」
講師 青色申告会事務局長 山里哲氏
 - 第 5 回: 「ベテラン農家から学ぶ! ~青果物の周年出荷・販路選択手法~」
上地安信氏
 - 第 6 回: 「私達の農業経営から学び合おう!」

(普及企画班: 濱盛優奈)

フレッシュマンの紹介

皆様はじめまして。この度、南部農業改良普及センター園芸技術普及班(花き)を担当させていただくことになりました、森田浩介と申します。私の出身地は沖縄で県内の大学を卒業後、民間企業で働いておりましたが、今年の 4 月より沖縄県職員として農業の普及業務に携わることになりました。普及業務の経験は無く、わからないことばかりですが、毎日やりがいを感じながら仕事をしています。



(園芸技術普及班: 森田浩介)

まだまだ勉強不足で未熟な私ですが、少しでも沖縄の農業振興に貢献できるよう、いろいろなことに挑戦していきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。

はじめまして。

4 月から南部農業改良普及センター(地域特産振興班)で畜産を担当することになりました、恩田寛と申します。出身地は神奈川県横浜市で、沖縄での生活も早や 13 年目となりました。



今まで家畜改良センター、中央家畜保健衛生所、北部家畜保健衛生所、(財)沖縄県農業開発公社で勤務し、普及センターでの勤務は初めてになります。

慣れない業務で戸惑いが未だありますが、南部地域の畜産振興のため、関係機関や生産者の皆さんと一緒に頑張っていきたいと思っています。どうぞ、よろしくお願ひします。

(地域特産振興班: 恩田 寛)